

8 事例集

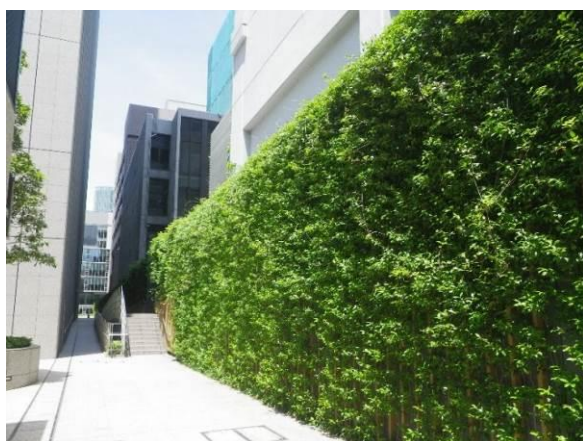
(1) 小規模な事例

小規模ではあるが、緑の種類、緑量、水面の工夫が見られる事例を紹介する。

駐輪場の外壁に数層に分けてプランターによる植栽を行っており、緑のボリュームを感じさせる演出を行っている。



厚さが薄い植栽により、狭い空間においても、まとまった緑を表現している。



坂道と建物との段差に対し、緑地を配置することで、快適な歩行空間を演出している。



敷地の小さな空間を利用して、多種の草類等により緑化をするとともに、水辺を設けて観賞魚を泳がせるなど、良好な憩いの空間を演出している。



建物の外壁に藤棚のように草類を設置し、カーテン状に緑化をしている。前面道路の街路樹と一体となった良好な空間を演出している。



建物円柱の外側を緑化することで、緑視率の向上と良好な緑量の創出を行っている。また、歴史的な建造物と融合した空間演出を行っている。



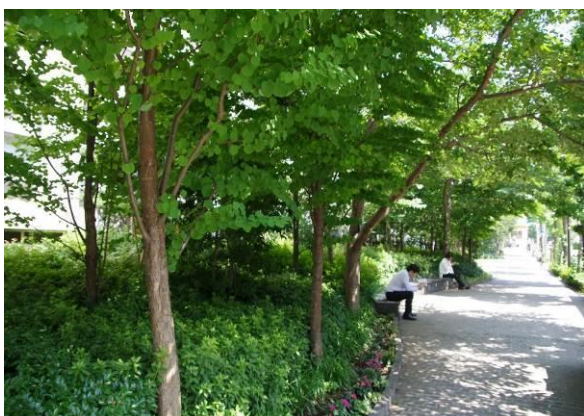
バルコニー部分の小スペースに中木等の植栽を行うことで、地上から垂直方向の緑視を得ることが可能となっている。



狭い幅の空間でも樹木等を適切な間隔で植栽することにより、建物外壁の目隠し効果を生んでいる。



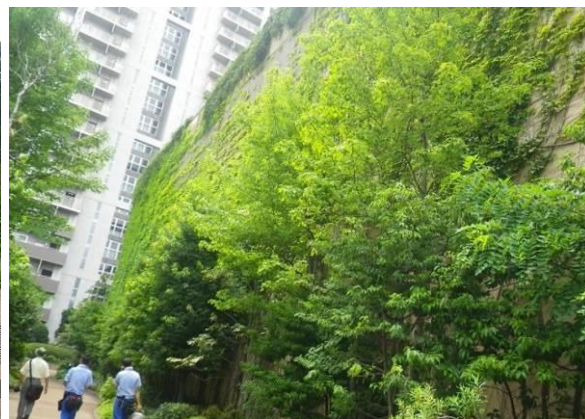
歩道状空地に高木や花き等を植栽し、良好な厚みを演出している。
また、敷地内の神社と併せて緑化を行うことで、歴史的・文化的な趣を広場状空地に演出している。



建物の外階段にフェンスを設け、樹木やツタ等を植栽することで、建物の目隠しをするとともに、垂直方向への緑視を豊かにしている。



高木、中木とともに、まとまった規模の壁面緑化を行い、良好で立体的な緑視空間を演出している。



屋外設備部分にパネルタイプのフェンスを設け、草類を植栽することにより壁面緑化を行っている。比較的まとまった規模の緑化により、立体的で良好な緑視空間を演出している。



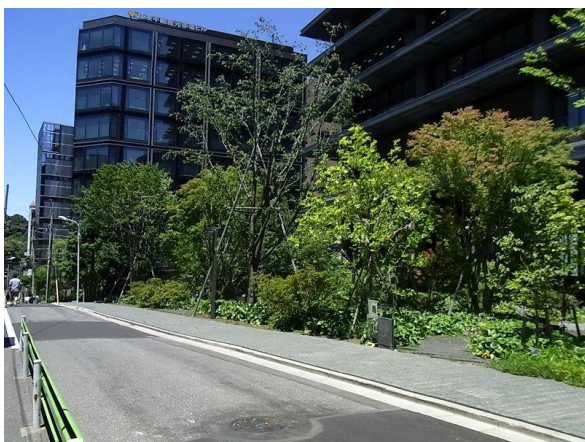
地面から人工地盤までの外壁にツタ状の植栽で壁面緑化を行っている。
また、フェンスにツタ状の植栽を行い、小さなスペースを活用して緑空間を創出している。



公開空地内にバランスを考慮した植栽と休憩施設を配置することで、緑を感じられる多目的な
スペースと憩いの空間を生み出している。



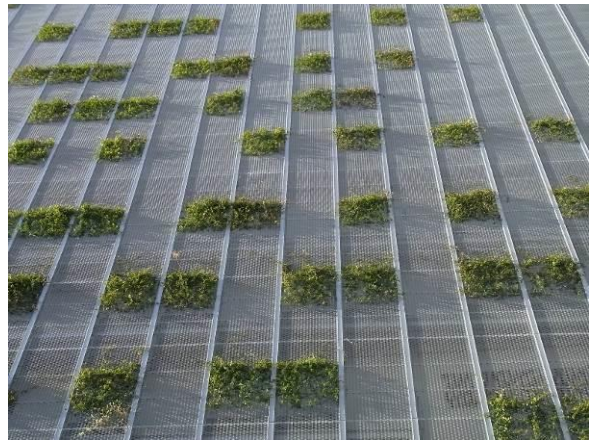
高木や花き等をバランスよく植栽することで、奥行きのある緑化空間を創出している。



限られたスペースに植栽ポットを用いて緑化している。また、人工地盤上に中木等の植栽と植栽ポットを組み合わせることにより、良好な緑化空間を創出している。



建物の外壁にフェンスを設け草本類を不規則に植栽することによって、個性のある立体的な緑化空間を生み出している。



建物上部に高木等を植栽することで、街路樹とともに立体的な緑化空間の形成を行っている。



各階層のベランダにテーマ性を持たせた空間の演出を行っている。中木を中心とした植栽を行うとともに、水の流れを取り入れるなどして、地域の生態系のイメージを再現している。



建物の壁面を草類により緑化をするとともに、高木や中木等を用いて良好な緑化空間を演出している。また、定期的にミストによる水やりをするなどの設備等をうまく取り入れている。



商店や休憩施設等の僅かな空間に植栽ポットを設置し、地域が一体となって緑化を行っている。



商店、医院、公共施設等の地先の僅かな空間に植栽ポットを設置し、緑化に取り組んでいる。



植栽ポットや地植えにより緑化空間を確保している。「四季」等のテーマ性のある緑化を行っている。

